

音声合成内蔵型センサ付き回転灯

ラッパッパ®

取扱説明書

Model : RTS-100F

このたびは、パトライト製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。保守・点検や補修などをするときには、必ず本書を読み直してください。なお、ご不明な点は最終ページに記載の技術相談窓口へお問い合わせください。

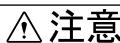
安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

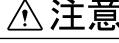


この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

1. 安全のために必ずお守りいただきたいこと



- 配線・製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
- 製品の分解・改造をしないでください。火災、感電などの恐れがあります。製品内部の修理・点検などは、最終ページに記載の技術相談窓口へお問い合わせください。
- 配線は間違いないよう注意してください。配線を間違うと内部回路が焼損し、火災の原因になります。
- 電源は、必ず電圧許容範囲内で使用してください。火災や故障の原因になります。
- 工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。



- 電源回路及び本体内部回路保護のため、必ず外部ヒューズを接続してください。
- 電球は「8.仕様」および製品の銘板表示されている電球以外は使用しないでください。製品の故障や電源焼損の原因となります。
- グローブは必ず閉めてから使用してください。反射鏡の回転による負傷、電球の熱による火傷などの恐れがあります。
- 電源電圧AC100V以外で使用しないでください。過電圧を加えると、製品の故障の原因となります。
- センサを強い熱源の近く、または熱源に向けての使用、急激な温度変化の発生する場所では使用しないでください。センサの故障、誤動作の原因となります。

警告及び注意事項に反したお取扱い、分解・改造や天災などによって生じた故障についての保障はできません。また本書に記載した内容以外での使用は避けてください。



- 強い電波や誘導ノイズのない環境で使用してください。ホーンからノイズが発生する恐れがあります。
- 腐食性ガスのない環境で使用してください。故障の原因となります。
- 静電破壊防止のため、体に帯電している静電気を放電させてから、作業をおこなってください。他のアースされている金属部分を素手で触ると、静電気を放電することができます。
- 各部品の取付けは、推奨トルク値にておこなってください。
- 本製品を安全重視の保安目的で使用する場合には、必ず日常点検を実施し、万一の不具合・故障発生時に対応できるシステム設計をおこなってください。
- グローブを外したままや割れたままで放置しないでください。内部に水や埃が入ると故障の原因となります。

～著作権について～

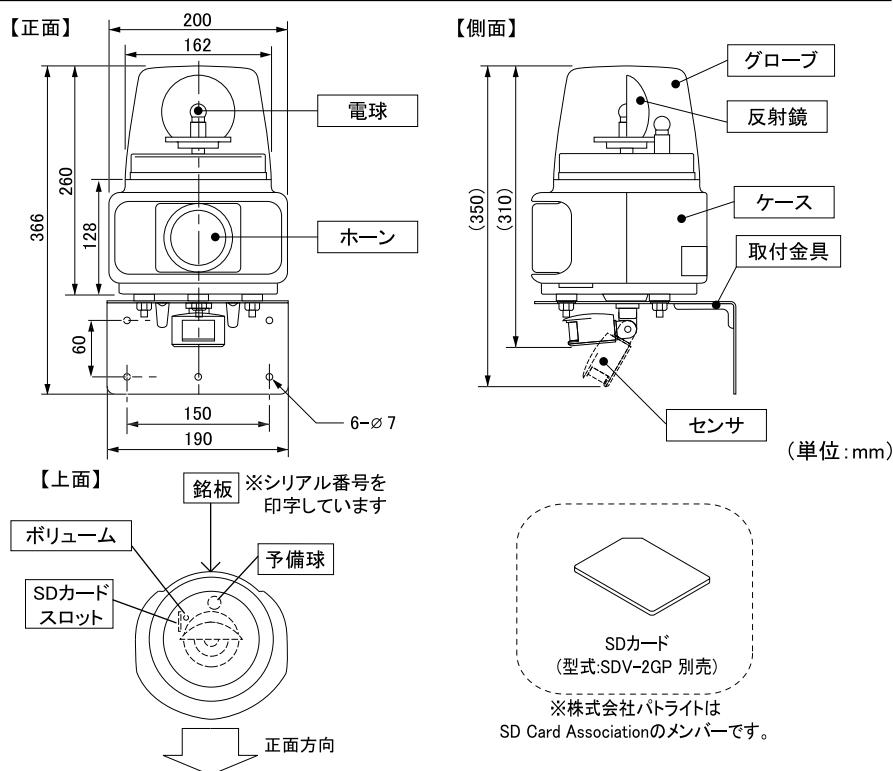
音楽CD、または他のメディアから録音あるいはコピーされた著作物を公衆・公共の場所で使用された場合、著作権侵害による法的処罰を課せられることがあります。音楽CD、または他のメディアから録音、あるいはコピーされた著作物を使用する場合には、必ず著作者の承諾を受けてください。また、株式会社パトライトが配布、または販売する音声・音楽データの著作権は、弊社に帰属します。株式会社パトライトの音声・音楽データの内容の一部、または全部を、権利者の許可なく複製・転載、またはネットワークなどで転送したり販売することを禁止します。

※ 本製品はセンサにより検知し、回転灯と音声が連動して動作します。
(回転灯のみ、音声のみの個別制御はできません。)

センサに関する注意

- 本製品のセンサは人体検知ではなく、赤外線で温度変化を検知するものです。従って、人体以外の熱源が検知エリアを横切れば、同様に検知します。また、検知エリア内に人がいても動かなければ検知しません。また、レンズに汚れなどが付着すると透過する赤外線の効率が低下し、検知感度にも悪影響を及ぼします。
- 結露、氷結、低温低湿度などにより検知距離低下や不動作が発生する場合があります。
- 金属、木材、紙、透明ガラスなどは遠赤外線を透過しないため、これらの物体が検知エリア内にあるとエリアが遮られることになります。
- 検知エリアの先は、壁、ブロックなどで遮るようにしてください。
- 取付場所によっては正常に動作しないことがあります。必ず正しい設置場所を選んでください。特に、次のような場所には取付けて使用しないでください。誤動作の原因となります。
 - ・ 検知エリア正面から太陽光、車のヘッドライト、外部照明灯などが直接当たる場所。
 - ・ 検知エリア内に洗濯物、樹木の木・葉、カーテンなど動く物がある場所。
 - ・ 検知エリア内で強風が吹く場所。
 - ・ 蒸気、油煙、エアコンなどからの温・冷風が直接当たったり、ストーブやヒーターがあるような、急激な温度変化が起きる場所。お風呂などの多湿な場所。
 - ・ 強い振動、衝撃などにより本体が動いてしまう場所。
 - ・ ホースやバケツなどの水が直接掛かる場所。
 - ・ 静電気や雷が多発する場所。

2. 各部の名称及び外観寸法



3. 取付方法

■ 取付手順

- 取付面へ付属の取付金具を固定してください。
- 次に取付金具へ本体を取り付け、電源線の配線をおこなってください。

△ 警告

- 製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
- 工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。

△ 注意

- 取付面は、製品の重さに耐えることができる十分な強度を確保してください。

○ お願い

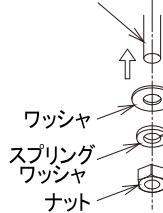
- 高所へ設置する場合は、補修のしやすい足場のある場所を選んでください。
- 電源に接続した状態のまま使用する場合は、安全のため本体近くに容易に電源を切ることができるスイッチを設けてください。
- ホーン部を上向きに取付けないでください。水や埃が入り、故障の原因になります。
- 横及び逆さ方向の取付けはしないでください。
- 配線時に電源線及び信号線を引っ張ったり、本体内に押し込んだりしないでください。
- 振動の発生する場所では製品落下を防ぐため、取付ナットの締め付けの定期点検や、ねじロックなどの塗布をおこなってください。
- センサ部に太陽光やその反射光が入らないようにしてください。誤動作の原因となります。

○ お知らせ

- 取付面の材質・厚さや、製品の再生音量により、取付面が共振し、振動音(ビビリ音)を発生する場合があります。
- 振動が激しい場所で使用すると、電球寿命が短くなります。

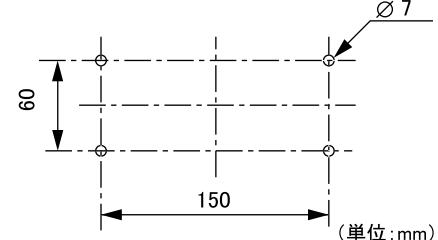
■付属品金具取付図

製品取付足

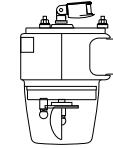
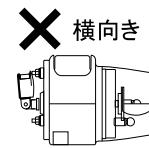
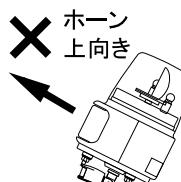
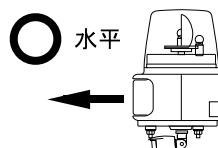


取付足に付いている
ワッシャ、スプリング
ワッシャ、ナットを外し
て使用してください。
取付けの推奨トルク
は6.2N·mです。

■取付面寸法図(付属取付金具使用)



■取付方向



逆向き

4. 配線方法



△警告

- 配線は必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。

△注意

- 電源回路及び本体内部回路保護のため、必ず外部ヒューズを接続してください。
- 電源電圧AC100V以外で使用しないでください。過電圧を加えると、製品の故障の原因となります。

お願い

- 電源を入れる前に、配線が正しくおこなわれていることを確認してください。
- ノイズ対策のため、電源線はできるだけ短くしてください。
高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響受け、誤動作する恐れがあります。

配線が終わりましたら下記の要領でセンサが正常に検知するか、動作確認をおこなってください。

※動作確認時、センサの各種調整ボリュームは「製品出荷時の設定」にておこなってください。

- 電源をONにし、回転灯にAC100Vを供給してください。この時、センサが安定状態になるまでの30秒間は、センサの検知に関係なく回転灯と音声合成は作動します。
- 約30秒間後回転灯、音声合成が止まりましたら、センサが待機状態になりますのでセンサの向きを検知させたい方向へ調節してください。
- センサの向きが決まれば、実際に検知し、回転灯が作動するか、検知エリアの確認をしてください。
- 検知エリアが定まれば、照度・作動時間・検知距離の設定をおこなってください。

5. 使用方法

5-1. センサの各種設定方法

本製品のセンサは、暗くなつて周囲照度が設定以下になったとき、人体などの温度変化を検知し、設定時間だけ回転灯を作動させることができます。周囲照度および、回転灯作動時間の設定が必要となりますので、下記の要領で照度・時間の設定をおこなってください。

【照度調整】

センサ底面にある照度調整用ボリュームにて調整をおこなってください。

照度調整用ボリューム	使用環境	製品出荷時の設定
明 暗	(: 暗い場所での検知用	製品出荷時は 「明」()の方に設定 されております
	： 昼間・夜間関係なく検知	

※照度ボリュームを一の位置から、センサが検知するまで徐々に上げていく方法で調整いただきますと、比較的簡単に設定できます。(検出させたい明るさの場所で調整をおこなってください)

※照度ボリュームを暗に設定した場合、周囲が明るいと初期起動しません。初期起動しないと通常動作しませんのでご注意ください。

【作動時間設定】

センサ底面にある時間調整用ボリュームにて調整をおこなってください。

時間調整用ボリューム	設定時間	製品出荷時の設定
12分 TIME 6秒	— : 約6秒 + : 約12分	製品出荷時は 「6秒」(—)の方に 設定されております

【検知距離調整】

センサ底面にある検知距離調整用ボリュームにて調整をおこなってください。

距離調整用ボリューム	設定距離	製品出荷時の設定
10m METER 1m	— : 約1m + : 約10m	製品出荷時は 「1m」(—)の方に 設定されております
	せまいエリアを検知させたいとき 広いエリアを検知させたいとき(通常使用状態)	

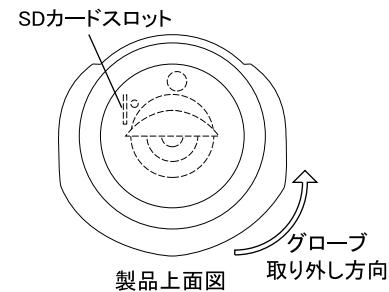
5-2.メッセージ登録

SDカード(型式SDV-2GP 別売)、音声書込みツール(型式FV-Win 別売)、またはPATLITEプレリストエディタ(弊社ホームページより無料ダウンロード可能)を使用し、メッセージの登録をおこなうことができます。

本製品の最大メッセージ秒数は、合計63秒(標準ビットレート再生時内部メモリサイズ:504KB)です。データ作成、SDカードへの保存方法については、音声書込みツール、またはPATLITEプレリストエディタのヘルプを参照してください。

5-2-1メッセージ登録手順

- 製品の電源を切ってください。
- グローブを反時計方向に回して取り外します。
- カードスロットに登録データを保存したSDカードを挿入してください。
- センサの作動時間を「+」(12分)に設定し、電源を入れてください。
※作動時間が短い場合、データの登録が完了する前に読み込みを中断する恐れがあります。
- 電源を入れると「ピポ」と報知し、登録を開始します。
- データの登録が完了すると、「ピー」と1回報知し、登録したメッセージを再生しますので、メッセージ内容が正しいことを確認してください。
※登録は60秒以内に完了します。「ピピピピピ」「ピピーピピ」などと報知した場合や、何も反応のない場合は登録が正常に終了していません。「7.修理を依頼される前に」を確認してください。また、ボリュームが最小の場合には報知音は聞こえませんので注意してください。
- 電源を切り、SDカードを抜いてください。
- センサの作動時間を再設定し、電源を入れてください。



△ 注意

- SDカードの抜き挿しは、必ず電源を切った状態でおこなってください。反射鏡の回転による負傷、電球の熱による火傷などの恐れがあります。

お願い

- SDカードは、別売のSDV-2GP型を使用してください。他のSDカードを使用した場合の動作は保証されません。
- SDカードをフォーマットする場合は、FAT16でおこなってください。
- カードスロットにSDカードを差し込む際、SDカードの向きに注意してください。また、カードスロットへSDカードを無理に押し込まないようにしてください。
- 製品本体・SDカードが破損する恐れがあります。
- SDカードを挿入したまま使用しないでください。
挿入したままにしておくと、センサが検知する度にメッセージ書き換えを開始します。
- カードスロットに異物が入らないように注意してください。

5-3.音量調整

ボリュームで音量調整が可能です。

- グローブを反時計方向に回し、取り外します。(「5-2.メッセージ登録」参照)
- 内部にあるボリュームを時計方向に回すと、音量は大きくなります。



お願い

- ボリュームは、0.3N·m以上の力でまわすと破損しますので、軽くまわすようにしてください。

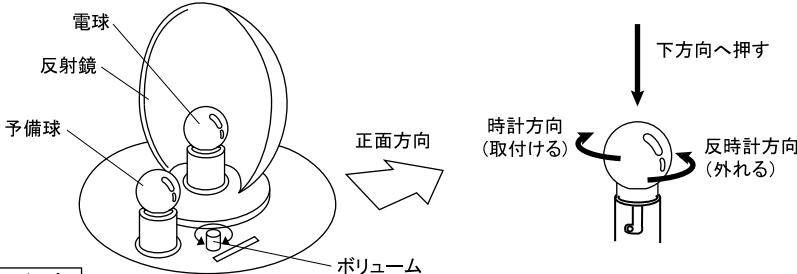
お知らせ

- 音量を大きくすると、音色により音割れが発生する場合があります。
- 使用環境や製品のバラつきにより、ボリュームが最小でも音量が0にならない場合があります。

6. 電球交換

電球が切れた場合は予備球と交換してください。

- 電源を切る。
- グローブを外す。(「5-2.メッセージ登録」参照)
- 電球を下方向へ押し、反時計方向へまわし取外す。
- 新しい電球を下方向へ押し、時計方向へまわし取付ける。
- グローブをしっかりと取付ける。



△ 注意

- 電球を交換する際は、必ず電源を切った状態でおこなってください。ショートの恐れがあります。
- 電球は冷めてから取り外してください。火傷の恐れがあります。
- 電球は「8.仕様」および製品の銘板表示されている電球以外は使用しないでください。
製品の故障や電源焼損の原因となります。

7. 修理を依頼される前に

トラブル内容	確認事項	処置方法
全く動作しない	電源は供給されていますか？	配線を確認してください。(4.配線方法)
	センサは正常に検知していますか？	センサの検知方向をセットし直してください。 センサの照度設定・検知距離設定を確認してください。(5-1.センサの各種設定方法)
スピーカーから音が出ない	電源は供給されていますか？	配線を確認してください。(4.配線方法)
	ボリュームが最小になってしまいませんか？	ボリュームを調整してください。(5-3.音量調整)
電源を入れると回転灯が回り続け止まらない	時間調整用のボリュームを適切な設定にしていますか？	時間調整用のボリュームを「-」(6秒)の位置に戻し、再度電源を入れなおしてください。(5-1.センサの各種設定方法)
	人がいないところでも動作してしまう	小動物や直射日光等、誤動作する要因はありませんか？
メッセージ登録ができない	電源は供給されていますか？	配線を確認してください。(4.配線方法)
	SDカード内にプレイリストが作成されていますか？	SDカード内のプレイリスト、データフォルダを確認してください。(FV-Win、またはPATLITEプレイリストエディタヘルプファイル)
	プレイリスト・フォルダのファイル名・内容は正しいですか？	
	SDカードのデータの保存先は正しいですか？	
	SDカードは当社オプション品を使用していますか？	SDカードを確認してください。
	SDカードは正しく挿入されていますか？	(5-2.メッセージ登録)

8. 仕様

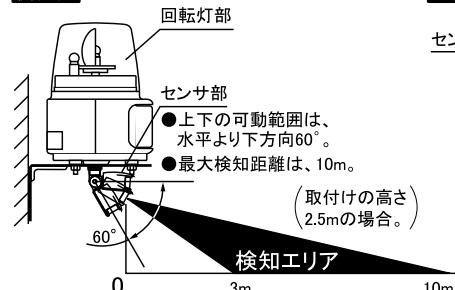
【仕様】

機種名	RTS-100F
定格電圧	AC 100V (50/60Hz)
電圧許容範囲	AC 90~110V
消費電力	31W ± 20%
閃光数	105 ± 30回/分
使用電球	12V 15W ガラス形状: G18・口金BA15S
音圧レベル	最大 105 dB : 製品を□300mm板に取付け、製品より正面方向1m、1kHz正弦波再生時 ボリューム調整可 ※メッセージ内容・使用環境により、音圧レベルは変化します
音声ファイル	MPEG1-Audio Layer III(MP3) 標準ビットレート: 64kbit/s, Fs=44.1kHz
ファイルフォーマット	FAT16
内部メモリサイズ	504KB(MP3データ合計)/最大再生秒数63秒(標準ビットレートデータ再生時)
センサ設定時間	約6秒~12分
動作温度範囲	-10 ~ 45°C
相対湿度	85%RH以下(結露なきこと)
取付方 向	正方向(屋内・屋外兼用)
保護等級	IP 23
絶縁抵抗	DC 500V 1MΩ以上(充電金属部-非充電金属部)
耐電圧	AC 1000V 1分間 充電金属部-非充電金属部
耐振動	19.6m/s²(30Hz 前後2h・左右2h・上下4h)
質量	2.5kg ± 5%

【センサ検知エリア】

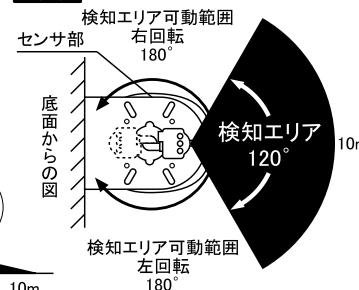
センサ検知範囲

側面図



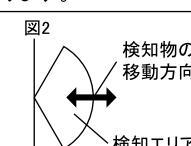
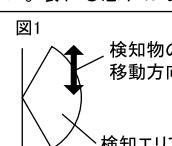
センサ部可動範囲

平面図



※センサ部は稼動範囲以上動かさないでください。壊れる恐れがあります。

上記の検知範囲はセンサに対して左右に横切る場合(図1)で、センサに向かって直進する場合(図2)は、検知物の状態変化が少なくなり、感度が鈍くなりますので、センサ設定時は図1の状態になることをお薦めします。



【動作タイミングチャート】



*T0: 初期センサ起動(初期電源投入時よりセンサ動作スタンバイするまでの間)[T0]は、回転灯と音声が作動し続けます。

*時間調整用ボリュームを「-」6秒(最短)の位置に設定するとT0は約30秒となります。

*T1: センサ設定時間

*T1は長くするとT0もそれに伴い長くなります。

9. 補修パート

●ご購入の際には最終ページに記載しております技術相談窓口にご相談ください。

部品名	
グローブ	赤
	黄
	緑
	青
グローブパッキン	
電球	
ロータゴム	

製品保証規定

[Ver.2.0]

この保証規定は、お客様がお買い上げ頂いた製品に関して、株式会社パトライト(以下、「弊社」といいます)が保証する内容について明記しています。

第1条(目的)

1. 本規定は、弊社の製品(以下、「本製品」といいます)に関する保証責任の取扱いについて定めるものとします。
2. お客様が本製品の使用を開始された時点で、お客様は本規定に同意して頂いたものとし、お客様と弊社との間で本規定の効力が有効に生ずるものとします。

第2条(保証対象および保証期間)

弊社は、お客様が本製品を購入された日から1年以内(以下、「保証期間」といいます)に本製品について以下の各号のいずれかに該当した場合(以下、「不良」といいます)、次条に定める保証責任を負うものとします。

- ①本製品の外形または内部に本製品の用途または機能を損なう変質または変形が発生した場合
- ②本製品が製品仕様書に定められた性能を発揮しない場合

第3条(保証内容)

1. 弊社は、本製品に不良が生じた場合(以下、「不良品」といいます)、自らの裁量により無償による修理または代替品の提供のいずれかの措置を講じるものとします。
2. 弊社が前項の措置を講じた場合、当該措置がなされた本製品の保証期間は、当初の不良品に関する保証期間と同一とします。
3. 弊社が第1項に基づきお客様に対して本製品の代替品の提供を行った場合、弊社において回収致しました不良品の所有権は、弊社に帰属するものとします。
4. 弊社は、第1項の代替品の提供に関して、製造中止等の諸事情により同一製品を提供できない場合には、自らの裁量により本製品と同等以上の性能を有する製品を提供できるものとします。
5. 以下の各号の部材は、保証の対象外とします。
①消耗品(モータ・電球・ロータゴム・パッキン・Oリング・キセノン基板等)
②輸送中ににおける本製品の保護を目的とした梱包材料(製品梱包箱・ビニール袋・緩衝材等)

第4条(免責事項)

1. 弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、不良に関して前条に定める保証責任を負わないものとします。
①本製品の輸送・運搬中に発生した衝撃・落下等の外部的要因により不良が発生した場合
②本製品の製品仕様書・取扱説明書・取り扱い上の注意等に違反することにより不良が発生した場合
③本製品が設置または接続された装置・機器・車両・船舶・建物・ソフトウェア等による外的要因に起因して不良が発生した場合
④お客様または第三者が事前に弊社の承諾を得ることなく本製品の分解・改造・補修・付属品取付等を行ったことにより不良が発生した場合
⑤お客様または第三者の故意または過失により不良が発生した場合
⑥お客様が第5条第3項の禁止事項に違反した結果、不良が発生した場合
⑦火災・地震・台風・落雷等の天災地変または公害・塩害・静電気・停電・異常電圧等の外部的要因に起因して不良が発生した場合
⑧本製品の販売時点における科学または技術に関する知識によっては、弊社が不良を予測することができない場合
⑨通常使用に基づく本製品の自然消耗または経年劣化により不良が発生した場合
⑩本製品が日本以外の国において使用されたことにより不良が発生した場合
⑪保証期間の満了後に不良が発生し、お客様において当該不良が保証期間内に発生したことを証明することができない場合

⑫弊社に対して本書のご提示がない場合

2. 弊社は、第3条第1項の措置の実施の有無を問わず、不良に起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品(本製品と通信回線等により接続されているか否かを問いません)に関する損傷、損失、不具合、データ損失および不良を修復するための費用(人件費、工賃費、交通費、運送費等をいいます)が、これらに限られません)のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様が使用されるシステム・機械・装置等への本製品の適合性はお客様自身で確認いたゞくものとし、弊社はこれらと本製品との適合性について一切の責任を負わないものとします。

第5条(ソフトウェアの取扱い)

1. 本製品に弊社が著作権者であるソフトウェア(以下、「本ソフトウェア」といいます)が内蔵されている場合、弊社は、お客様に対して本ソフトウェアを日本国内で使用する非独占的で譲渡不能な使用権を許諾するものとします。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能を向上させるべく、自らの裁量により本ソフトウェアをバージョンアップすることができるものとします。弊社は、ソフトウェアのバージョンアップに起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品(本製品と通信回線等により接続されているか否かを問いません)に関する損傷、損失、不具合、データ損失および不良を修復するための費用(人件費、工賃費、交通費、運送費等をいいます)が、これらに限られません)のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様は、事前に弊社の承諾を得ることなく、以下の各号の行為を行ってはならないものとします。
①本ソフトウェアを複数すること
②本ソフトウェアの改変・結合・リバースエンジニアリング・逆コンパイル・逆アセンブル等を行うこと
③本ソフトウェアを第三者に対して再使用許諾・貸与・レンタル・転売すること
④本ソフトウェアを第三者に送信可能な状態でネットワーク上に蓄積すること
⑤本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去すること

第6条(その他)

1. 本製品に関する製品仕様書・取扱説明書・カタログ等の記載内容は、事前に予告なしに変更する場合があります。
2. 本製品に関する弊社の責任は、本規定をもって全てとし、弊社はこれ以外に一切の責任を負わないものとします。
3. 本保証書は、日本国内においてのみ有効に効力を生ずるものとします。お客様または第三者が本製品を海外へ輸出される場合、本規定の適用は除外されるものとし、本製品に関する全ての責任は、輸出元に帰属するものとします。
4. 弊社は、お客様による紛糾・損傷等の事由を問わず、お客様に対して本書の再発行を行わないものとします。
5. 本書は、本書に明示した条件に基づき保証をお約束するものです。従って、本書によって弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

第7条(準拠法および管轄裁判所)

本規定は、日本法を準拠法とし、日本法に従って解釈されるものとします。本規定の履行および解釈に関して紛争が生じたときは、大阪地方裁判所を第一審の専属の合意管轄裁判所とするものとします。

以上

株式会社パトライト

〈注〉・寸法・仕様および構造などは、改善のため予告なく変更することがあります。
・この取扱説明書に記載した警告事項・注意事項に反したお取扱いにより発生した故障や損害などについては、責任を負いかねますのでご了承願います。

世界中に「安心・安全・楽業」をお届けする

株式会社 パトライト

<http://www.patlite.co.jp>

J2D

〔受付〕平日9:00～17:00

平日12:00～13:00及び土・日・祝日・

社休日は留守番電話による応対

※ご注文・価格・商品内容等は、各営業所拠点または販売店にお問い合わせください。

●技術・修理相談窓口(無料):0120-497-090